

その4 防災・災害情報を入手しましょう

情報は、自分や家族を守る命綱です。テレビ、ラジオ、インターネットなどから正確な情報を入手しましょう。

テレビ

ニュースなどの放送のほか、地上波放送視聴時に、リモコンの「dボタン」を押すと、気象情報や避難情報を見ることができます。(例：NHKの場合「dボタン」→「防災・気象情報」を選択)

ラジオ

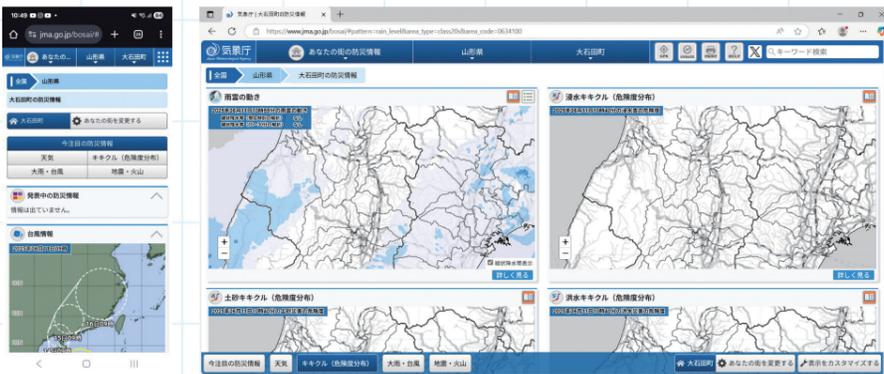
電池やバッテリーで動くラジオを用意しておくと、停電時も情報を入手することができます。

インターネット

災害発生時のインターネット上には様々な情報が流れています。確実な情報源から正確な情報を入手しましょう。災害時に役立つサイトをいくつかご紹介します。

町の気象情報をまとめて確認

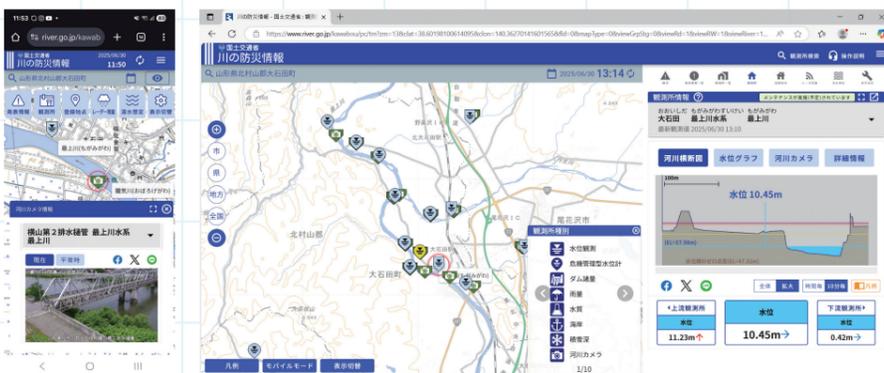
あなたのまちの防災情報(気象庁)



大石田町周辺の気象予報、大雨情報、危険度分布(キキクル)、地震の震度など、災害時に有用な情報をまとめて確認することができます。

自宅で川の様子を見ることができる

「川の防災情報」(国土交通省)



主要な河川に設置された水位計の情報やライブカメラの映像を確認することができます。

町公式LINE

土砂災害警戒情報や避難情報、鳥獣害情報などの防災情報を発信しています。また、イベント情報など各種行政情報を発信します。

Yahoo! 防災速報

地震や豪雨、土砂災害、避難情報、熱中症情報など様々な災害情報をお知らせします。また、災害時の行動や被災時の対処法も確認することができます。

防災放送確認ダイヤル

防災放送は、障害物や風向き、風雨の影響で聞こえにくい場合があります。放送が聞き取れなかった場合は、防災放送確認ダイヤルで内容を確認できます。

TEL : 0237-48-8444

自分のいのちは、自分で守る

いつか来る災害に備えて日頃から防災について考えてみましょう。

その1 普段から災害の備えをしましょう

平時から防災マップを確認し、自宅の災害リスクや避難経路、とるべき行動を確認しておきましょう。あらかじめ非常用持ち出し袋を用意して、迅速な避難に備えましょう。



その2 警戒レベルととるべき行動

災害発生時や災害発生の恐れがある場合は、避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人は警戒レベル3「高齢者等避難」で、警戒レベル4「避難指示」では全員が避難してください。警戒レベル5「緊急安全確保」の発令を待ってはいけません。

警戒レベル	気象庁等の情報	市町村の対応	住民がとるべき行動
5	大雨特別警報 災害切迫	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	命の危険 直ちに安全確保! すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。しきる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。
<警戒レベル4までに必ず避難!>			
4	土砂災害警戒情報 危険	避難指示 第4次防災体制 (災害対策本部設置)	危険な場所から全員避難 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。
3	大雨警報 洪水警報 警戒	高齢者等避難 第3次防災体制 (避難指示の発令を判断できる体制)	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。
2	大雨警報に切り替える可能性が高い 注意 大雨注意報 洪水注意報	第2次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制) 第1次防災体制 (連絡要員を配置)	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。
1	早期注意情報 (情報伝達の可能性)	心構えを一段高める 職員との連絡体制を確認	災害への心構えを高める

※夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い。注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

その3 避難するときのポイント

- 「避難」とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。
- 避難所の開設情報は、町ホームページ等で順次お知らせします。避難の際は最新の情報を確認してください。
- 町指定の避難所だけでなく、安全な親戚・知人宅への避難も検討しましょう。
- 常用持ち出し袋はすぐに持ち出せる場所に用意しましょう。持病のお薬や眼鏡、入れ歯などの替えがきかないものを忘れずに持参して避難しましょう。
- 豪雨時の屋外の移動は車も含めて大変危険です。自主的に早めの避難をしましょう。